

交雑種牛肉のイメージ向上のための提言

平成22年10月 国産食肉需要拡大会議

提言1. 「交雑種牛肉とは何か」を分かり易く表示する工夫

- 和牛と乳用種を交配した「交雑種」は、品種名が浸透していないことから、消費者に分かり易い表示を工夫

*ブランド名（黒毛和種×乳用種）、国産牛（黒毛和種×乳用種）など、和牛と乳用種の交配した牛肉であり、和牛に近い品質であることを訴求

*ブランド名（交雑種）と表示する場合は、「黒毛和種のお父さんと乳用種のお母さんから生まれた、和牛に近い品質の国産牛肉」など、その商品特性を説明するキャッチコピーを工夫

提言2. 「交雑種牛肉」の特性を消費者に伝え、イメージを向上

- 「交雑種牛肉」は、イメージが良くないとの指摘があることから、その特性を整理して関係者が共有し、消費者への浸透を図る

〈交雑種牛肉イメージの設定のポイント〉

*黒毛和種と乳用種を交配させることで生まれた、和牛に準じた品質の国産牛肉（固有の事実）

*お手頃な価格で、おいしい牛肉（機能的価値）

*おいしい国産牛肉に期待を持つファミリー層からシニア層まで、幅広い顧客（使用者像）

*健康や活力を支えてくれる信頼の国産食材（ブランドの個性）

*牛肉本来の旨みを味わう幸福感、ちょっとした贅沢感（情緒的価値）